

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成23年度第9回定例会会議記録
開催日時	平成23年12月21日（水曜日） 18時30分から20時30分まで
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：中曾根聡、千葉佳子、畠山昭裕、須磨田純子、馬場真由美、西原みどり、大島眞之、福島憲子、加藤真理、新藤浩伸、渡辺文子 職員：相原館長、大平主幹、川口館長補佐、寺嶋分館長、小笠原分館長、長谷部分館長、平井分館長
欠席者	委員：幸内悦夫、西嶋剛昭、萩原建次郎
議題	1. 第8回定例会の記録について 2. 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 都公連委員会運営委員会報告 (4) 東京都公民館研究大会報告 3. 事業計画書・報告書について 4. 協議事項 (1) 社会教育法第30条の改正について (2) 事業評価について (3) 西東京市公民館事業計画作成の流れ 5. 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	(1) 平成23年度西東京市公民館運営審議会第9回定例会の開催について（通知） (2) 第8回定例会会議録 1～4ページ (3) 平成23年度公民館主催事業計画書 5～9ページ 1. 古典に学ぶ私たちの生き方（谷戸） 5ページ 2. 谷つ戸子やってみ隊・子ども料理講座「春のちらしとお魚料理に挑戦！」（谷戸）6ページ 3. ビギナーズ現在学（早春編）「被災地・紛争地の現在を知る」 苦難から新たな明日へ（谷戸） 7ページ 4. セカンドライフ講座 第2の人生は健康な身体づくりから（ひばりが丘） 8ページ 5. ものづくり立体工作体験講座 小枝・どんぐり・松ぼっくりを利用して（保谷駅前） 9ページ (4) 事業報告書 1. 身近な史跡を知る講座 古城跡をめぐる（柳沢） 10ページ 2. 身近な素材で自然な色に 草木っ染め（柳沢） 11ページ 3. 芝久保まつり・公民館主催講座「ピアノ弾き語りライブコンサート」（芝久保）12ページ 4. 護身術入門講座（芝久保） 13ページ 5. 佐藤純 監督と語る現代史と映画の魅力（谷戸） 14ページ 6. 西東京市 文学さんぽ「市制10周年記念」（ひばりが丘） 15ページ 7. 「森の講座 生態系から人の暮らしまで」（保谷駅前） 16ページ (5) 公民館だより編集室報告（別紙） (6) 西東京市公民館事業計画作成の流れ（別紙）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り（1人） 無し
会議内容	

## 議事

### 1. 第1回定例会の記録について（承認）

### 2. 報告事項

#### (1) 行政報告

1.12月市議会定例会の一般質問（公民館事業の考え方、公民館市民企画事業についての教育委員会の考え方）

館長：

市民との協同による公民館にとって重要な事業であることを報告した。

委員：

公民館市民企画事業は、公民館事業の中でも現在もとても有意義な事業と私も考えている。今後もこの事業・制度をしっかりと発展、運営してほしい。

#### (2) 公民館だより編集室報告（別紙、報告書提出）

委員1：

公運審コラムの記事について、今回だれが訂正したのかお聞きしたい。記事を訂正する場合は、必ず本人に確認の上、修正や訂正をしてほしかった。

館長：

編集担当職員には、必ず訂正する場合は、執筆者本人に確認することを指示している。今回は、指示監督不足であったことをお詫びしたい。

委員2：

公民館だよりの紙面に私たち委員がかかわることの意義を教えてください。新任委員のため参考としたい。

館長：

公民館だよりの紙面づくり、編集作業は、公民館事業の一つとして位置づけている。その中で、内容が職員の一方向的なものにならないよう、市民参加の紙面づくりとなっている。

委員3：

だよりは、一方向なお知らせ記事の広報誌ではない。市民サイドの参加が必要不可欠だと思う。

委員4：

公民館だよりに市民参加のひとつの制度として、公運審がかかわることは、委員の権利でもあると認識している。

委員5：

公民館だよりに、市民としてかかわる立場、目線。職員としてかかわる立場、目線。公運審としてかかわる立場、目線。三種三様でかかわり、より豊かな紙面、内容になると思われる。

#### (3) 都公連委員部会運営委員会報告

・第3回研修日程（3月3日午後1時30分から4時・国分寺市本多公民館）

テーマ…公民館事業評価について、公民館運営審議会委員がどうかかわるか

講師…伊東静一氏（元福生市公民館長）

#### (4) 東京都公民館研究大会報告

- ・12月11日開催。

(研究大会出席者の感想を述べる。第1～第5分科会)

##### 「第1分科会」

・数年前からの東村山市公民館の有料化の経過、落語の実演。グループワーク、各市公民館の自慢できる事業の紹介

- ・西東京市からは、公民館まつり、コンサート、防災に関する取り組みを紹介した。
- ・有料化は、西東京市の公民館としてはぜひ避けたいと強く思った。

##### 「第2分科会」

・障がい者の青年学級についての内容。  
・国分寺では、卒業制度が障がい者の青年学級にないため、定員いっぱいとなっているのが現実。三館目の障がい者の青年学級を国分寺では計画中。  
・悩みとしては、スタッフ不足、財政不足。活動場所が変更となることで当事者の父兄からの反対が多い。

・この問題で職員の負担、心労がある。公民館全体としてしっかり取り組む必要があるとのレポートだった。

##### 「第3分科会」

・3・11以後の公民館の役割がテーマ。  
・災害弱者の支援、少数の人の意見に耳を傾けていくこと。  
・地域の課題問題解決は、専門家の意見を聞くことももちろん大切だが、最終的には公民館で地域の人たちが考えていくことの重要性を確認。一緒に考え、よりそっていく姿勢が大切。また、日常のコミュニケーションを大切に。

・公民館の災害時のかかわり方については、公民館で学んだことを市民が行動にうつすとき、公民館はそれを支援すること。公民館はその基準の設定をすることが大切。また、正しい情報を公民館が得て、市民に伝える大切さの確認。

##### 「第4分科会」

- ・ホームページの活用がテーマ。
- ・相模原市公民館が市民参加でホームページを立ち上げ、独自で運営している内容を紹介。

##### 「第5分科会」

・公民館はじめの一步として、新任の職員、委員やベテランの職員等を含め、公民館の原点として、自由と自治を学んだ。

### 3. 事業計画書・事業報告書について（『・』は委員質疑・意見、『→』は職員回答）

#### (1) 事業計画書について

- ・古典に学ぶ私たちの生き方（谷戸） 5ページ
  - ・ねらいや学習内容は詳しく記載されているのに、期待される効果が未記入であるが。
  - ・生き方としたタイトルだが、生き方は他者から学ぶことも重要。内容が承りだが、参加者同士のふりかえりの時間を設定するなどして内容の工夫をしてはどうか。
- ・谷つ戸子やってみ隊・子ども料理講座「春のちらしとお魚料理に挑戦！」（谷戸） 6ページ
  - ・申込方法が明記されていない。また、定員12人の根拠を教えてください。  
申込方法は、電話となる。定員12人は、会場の収容能力の関係。
  - ・募集は子どものみであるが、効果の欄に「見学した保護者が子どもたちの新たな一面と可能性に気づく」とある。が、気づきには限界があるのではないかと。  
→子どもは単独で参加するが、親の見学者もいる。
  - ・レシピを子どもに渡したり、料理を写真に撮り持ち帰ってもらう工夫があれば、見学した保護者や見学できなかった保護者も子どもたちの新たな一面と可能性に気づくことができると思う。ぜひお願いした。

→担当に確実に伝えたい。

・学校でも食育に取り組んでいる。この時期に何を食べるかなどをしっかりと教えることはすばらしい。

・保護者が同伴してはどうか。また、保護者と一緒に食事をしてはどうか。

・保護者も一緒に食事をする場面をつくってはどうか。

→担当に確実に伝えたい。

・セカンドライフ講座 第2の人生は健康な身体づくりから (ひばりが丘) 8ページ

・申込方法は、

→先着順である。

・金曜日の午前中は、55歳以上は参加が難しいのでは。また、今後継続事業にしてはどうか。介護予防を公民館で発信していくことは大切と思う。

・ものづくり立体工作体験講座 小枝・どんぐり・松ぼっくりを利用して (保谷駅前) 9ページ

・講師の近藤氏はどのような経過で依頼したのか。

→市民まつりで工作コーナーに参加していた方である。事業目的は、1つではなく複数つけることは可能か。

→あえて主たる目的を選択するため、1つとしている。今後の事業評価を見据えたもの。今後の方向性の欄で、可能性を記入していくことになる。

## (2) 事業報告書について

・身近な史跡を知る講座 古城跡をめぐる (柳沢) 10ページ

・内容が盛りだくさん。公民館らしい良い講座と思う。アンケートを読んだが、期待が大きかった講座だったようだ。今後も交流に留まらず、臨機応変に発展させてほしい。

・野外に出る事業は、積極的に今後も取り組んでほしい。

・身近な素材で自然な色に 草木っ染め (柳沢) 11ページ

・参加者が柔軟にかかわったことは、良かったようだ。できれば、この講座をさらに発展させてほしいと思う。

・芝久保まつり・公民館主催講座「ピアノ弾き語りライブコンサート」(芝久保) 12ページ

・講師については、この時期市内のさまざまな場所でイベント活動をしていた。いかがなものか。

→講師の選定は、まつり実行委員会の中で、話し合いで決定している。今回まつりのテーマが「絆、復興支援、今私たちができること」であり、そのテーマに合わせて実行委員会で依頼をした。数ヶ月前から依頼をしていて、市内で講師が結果的に重なったことの予想は不可能であった。また重なったことが決して問題であるとは思っていない。公民館としては、住民が決定した経過や自治を今後も大切に支援していくつもりである。

・護身術入門講座 (芝久保) 13ページ

・参加者の年齢構成は、

20歳から50歳まで。平均すれば40歳台。

・「森の講座 生態系から人の暮らしまで」(保谷駅前) 16ページ

・子どもの参加はあったのか。

→大人だけ

・公民館らしい事業だと思う。

## 4. 協議事項

### (1) 社会教育法第30条の改正について

館長：

西東京市公民館の場合は、条例施行規則で定めている。文部科学省が決定した基準と西東京市は同様であるところだが、選出区分が現状でよいかどうかの意見をお聞きしたい。

委員：

千葉大の長澤先生の意見では、文部科学省が決定した基準で行うことは、弾力性が失われる危惧が

あるとのことだった。公民館は本来独自で、地域密着型の条例で行うことが理想だと思う。

(2) 事業評価について

委員：

事業評価の答申を提出したが、その後の具体的進捗状況をお聞きしたい。

館長：

現在、企画書、報告書の作成を終え、アンケートの検討作成作業を実施、24年度以降に向けて進めている。

(3) 西東京市公民館事業計画作成の流れ

資料に沿って説明（館長）

5. 事務連絡及び情報交換

委員：

毎月の企画書、報告書の講座審議だけではなく、もっと幅広く事業方針の考え方や施設機能、各公民館の特色はなにか、その地域性をどのように反映しているかなどを配慮して報告も伝えていただければ幸いである。このような全体的な議論ができる場をぜひ設定してほしい。

委員：

私たちは利用者懇談会に委員の役割として積極的に参加して、事業や機能を住民、利用者の方たちと一緒に学ぶことが必要だと思う。

次回の日程について

第10回定例会 1月25日（水曜日） 18時30分 於：田無公民館 第二学習室